平成21年

さらなる繁栄と活力ある町へ

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様に於かれましては健やかに、御家族お揃いで新年を迎えられた事と御拝察申し上げます。日頃は町議会に対して、深い御理解と御指導賜って居りますこと議員を代表して厚く御礼申しあげますと共に、本年も叱咤、激励戴けます様よろしくお願い致したいと存じます。

昨年は国内外で数多くの出来事がありました。化石燃料の高騰による物価高から始まり、食の安全からアメリカ発の世界同時不況へと続き、その影響は日本経済を直撃し、輸出産業の不振による雇用問題を始めとした多くの難題をかかえ展望の見えないまま年越しとなりました。

一方洞爺湖町はサミットに明け暮れの1年だったと思います。地球温暖化、環境問題と洞爺湖の雄大な大自然など改めて再認識するきっかけとなった事は喜ばしい限りです。又、各種イベント、清掃や花いっぱいでの町民参加の諸行事はこれからの町づくりの為には欠く事の出来ない大きな成果だったと思います。

町議会としてもサミットが一過性に終る事のない様引続き、アフターサミット特別委員会を設置し、4月オープン予定の仮称「サミット記念館」の展示の検討などを始め魅力溢れる洞爺湖の構築と更なる活性化に向けて努力しているところです。

又、昨年10月にはユネスコが支援する世界ジオパーク（世界地質遺産）ネットワークへの国内初の候補地に洞爺湖有珠山地域が選ばれたり、入江、高砂貝塚が世界文化遺産のリストに入り、その関係で今年「第13回縄文シティサミット」が洞爺湖で開催されるなど、明るい話題もいろいろとあります。

これらの恵まれた地域の財産を町民の皆様とともに力を合わせて繁栄させ、子々孫々の代まで引き継いで行こうではありませんか。景気が悪いからと云っても、町の財政が厳しいからと言っても町民の生活に直接関る問題は停滞したり放置する事は地方自治体に取っては許されないのです。

議会の使命は町民の生活を豊かにし、生命、財産を守り安心の暮しを考えるのが仕事です。何が必要か、どんな手立があるのか、あらゆる手法を模索しながら洞爺湖町がさらなる繁栄と活力溢れる町となる様、町議会議員一同、町職員と共に頑張る所存です。町民皆様の一層の御指導と叱咤、激励も併せてお願いします。

平成21年が皆様に取って御健勝で最良、更なる飛躍の年となります様御祈念申し上げ年頭のあいさつといたします。

平成21年　1月　吉日

洞爺湖町議会議長　篠原　功